

アマゴ増殖試験事業－Ⅱ

(平成3年度)

村山 隆夫・戸田久仁雄

河川下流域（感潮域）の有効利用を目的として平成2年度から、スモルトアマゴ（銀毛アマゴ）を相模川に放流し、海域（相模湾）での採捕状況及び相模川の回帰状況等について調査を実施しているが、本報では平成3年度の状況について、得られた情報を報告する。

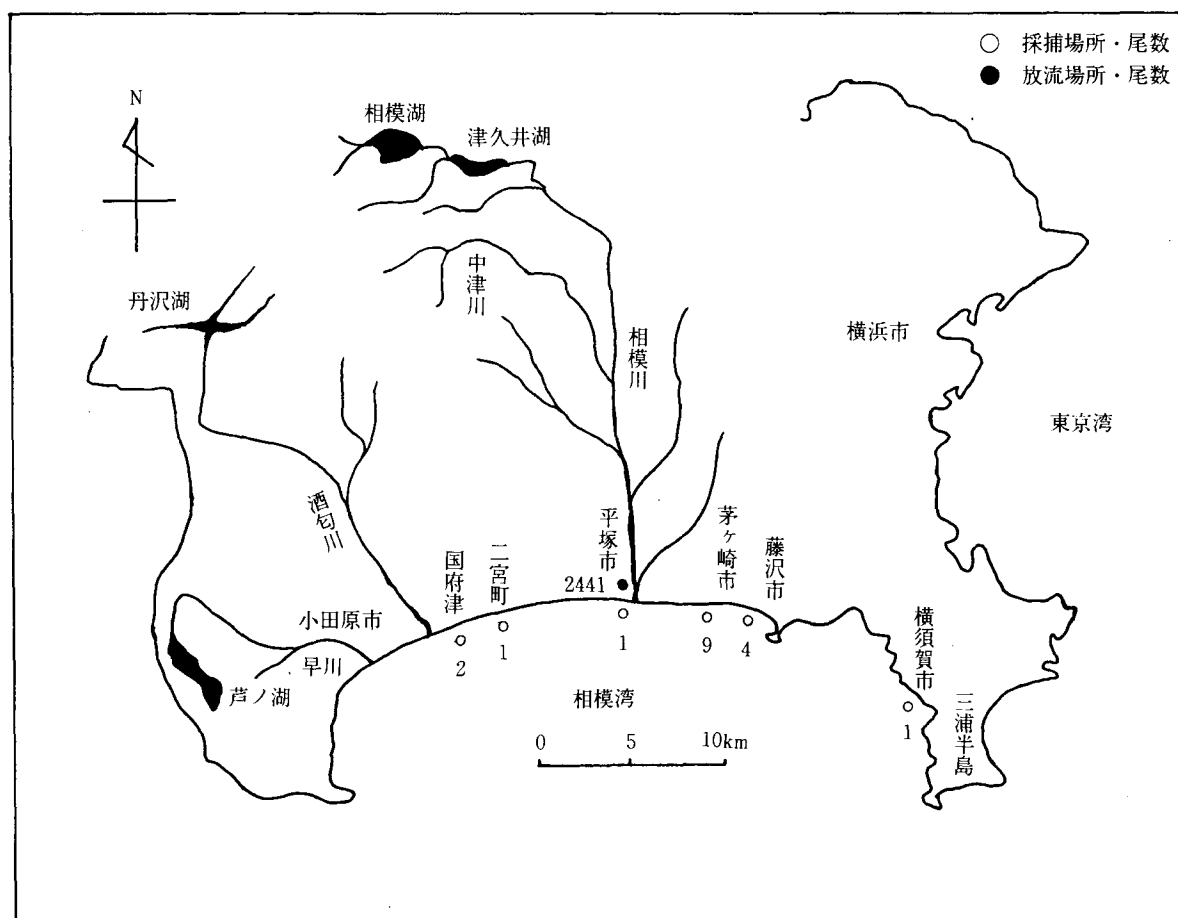
採捕の状況

採捕の状況については、すべて漁業協同組合及び釣り人等からの情報により、当场では漁獲調査等を行わなかった。

平成2年度に放流したスモルトアマゴの平成3年3月末までの状況は前報で述べた通り¹⁾であるが、平成3年4月以降の状況等は次の通りであった。

海域（相模湾）での採捕状況

採捕の状況は第1表及び第1図に示したとおりで、平成3年1月24日（リボンタグ標識魚801尾、脂ビレ切除魚497尾、計1,298尾）及び同年2月1日（無標識魚1,143尾）に合計2,441尾放流したものの一部が採捕され、放流魚が降海したことが確認された。



第1図 海域での採捕場所

第1表 海域でのアマゴ採捕状況

採捕 No	採捕年月日	採捕尾数 (尾)	採捕場所	漁 法	全 長 (cm)	被鱗体長 (cm)	尾叉長 (cm)	体 高 (cm)	体 重 (g)	性 別	性殖腺 重量 (g)	胃内容物	標識の有無	備 考
○ 1	平成3年4月5日	1	相模川河口西水深5m	ヒラメ刺網	29.6	27.2	28.7	—	385	♀	0.8	小魚 2尾	無	
○ 2	〃 〃 6日	2	茅ヶ崎地先	地曳網	23.8	21.5	23.1	—	128	♀	1.2	空	無	
3	〃 〃 13日	2	藤沢地先	地曳網	26.1	18.9	19.9	—	172	—	—	小魚 1尾	有(リボンタグ)	
○ 4	〃 〃 21日	2	藤沢地先	シラス船曳網	33.5	—	—	—	480	—	—	—	有(リボンタグ)	2尾とも同サイズ
○ 5	〃 〃 〃	1	茅ヶ崎地先	地曳網	—	27.4	29.1	—	372	—	—	小魚 2尾	有(リボンタグ)	
○ 6	〃 〃 29日	1	茅ヶ崎地先	地曳網	35.7	32.6	35.0	—	687	♀	2.7	小魚の脊椎骨1個	無	
7	〃 〃 5月4日	2	国府津地先	ヒラメ刺網	29.9	27.0	28.7	—	294	♀	0.8	小魚 6尾	無	
8	〃 〃 〃	2	茅ヶ崎地先	地曳網	31.4	31.0	32.6	—	543	♀	1.5	小魚の脊椎骨2個	有(リボンタグ)	
9	〃 〃 10日	1	二宮地先	地曳網	34.5	—	—	9.5	500	—	—	—	無	1尾のみ測定
10	〃 〃 11日	1	茅ヶ崎地先	地曳網	30	—	—	—	—	—	—	—	無	
11	〃 〃 12日	2	茅ヶ崎地先	地曳網	50	—	—	—	—	—	—	—	無	
○ 12	〃 〃 16日	1	大楠地先	イカ猪口網	—	37.0	39.4	—	832	—	—	—	無	
合 計	—	18	—	—	40.3	35	36.4	—	967	—	—	小魚 2尾	無	
					35	—	—	—	—	—	—	小魚類 充滿	無	美味
					40	—	—	—	—	—	—	〃	無	〃
					36.0	33.0	35.0	—	522	♀	1.4	消化進み不明	無	
					—	—	—	—	—	—	—	—	リボンタグ標識魚 1尾	

○印は当场で測定

海域での採捕は平成3年4月5日～5月16日までに情報があり18尾が確認された。

採捕場所は、横須賀市大楠地先から小田原市国府津地先までの広範囲にわたり、ヒラメ刺網、シラス船曳網、地曳網、イカ猪口網で採捕されているが、西湘地区に多い大型定置網による採捕の情報は無かった。

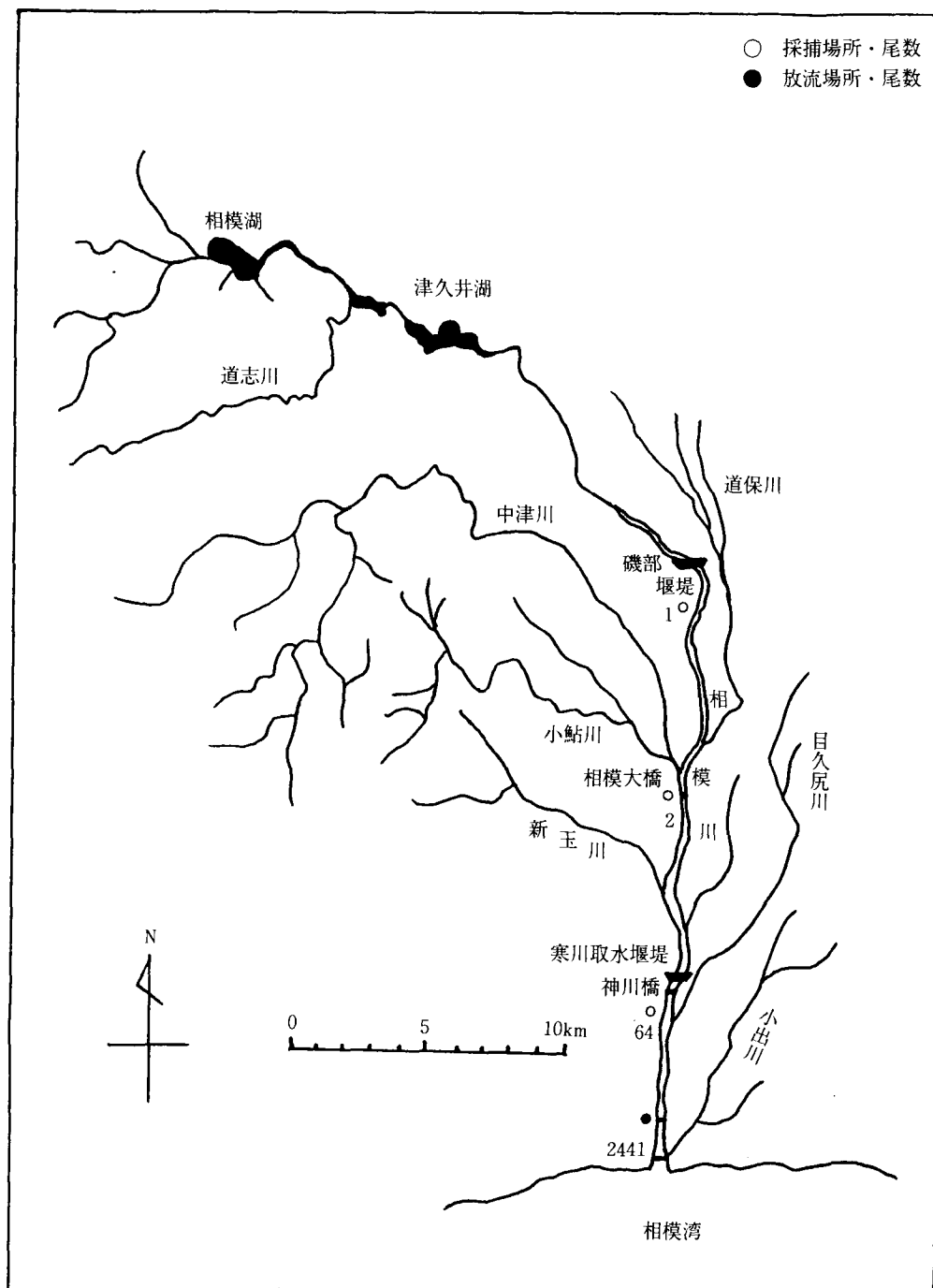
採捕された18尾の内、標識魚（リボンタグ標識魚）4尾が確認された。提供を受けた7尾について当场で測定したが、大部分のものは♀と確認され、また、胃には小魚類が充満しているものもあった。

また、再捕された標識魚の成長については、放流時体重の範囲約62g～174gのものが約172g～543gに増重していることが判った。

放流河川（相模川）での採捕状況

採捕の状況は第2表及び第2図に示した。

相模川で採捕され情報のあつたものは67尾で、標識魚が8尾（リボンタグ標識魚5尾、脂ビレ切除魚3尾）確認された。



第2図 放流河川での採捕場所

第2表 相模川でのアマゴ採捕状況

採捕No	採捕年月日	採捕尾数 (尾)	採捕場所	漁法	全長 (cm)	被鱗体長 (cm)	尾叉長 (cm)	体高 (cm)	体重 (g)	性別	性殖腺 重量(g)	胃内容物	標識の有無	備考
○ 1	平成3年5月18日	2	神川橋下流	ルアー釣	29.9 36.5	30.2 33.1	31.8 35.2	— —	470 694	♀ ♂	2.0 0.6	空 タハコ71ルター1個	無 無	
2	〃 〃 22日	1	〃	〃	32	—	—	—	—	—	—	—	無	再放流
○ 3	〃 〃 25日	1	〃	〃	29.8	26.6	28.4	—	297	—	—	空	有(リボシタグ)	
4	〃 〃 27日	1	〃	〃	40	—	—	—	1,000	—	—	小魚 1尾	無	午後6時頃
○ 5	〃 〃 28日	1	〃	〃	42.2	38.1	40.5	—	941	—	—	空	無	〃
6	〃 〃 30日	1	神川橋下流150m	餌釣(ミミズ)	35	30	32	—	550	—	—	—	有(脂ビレ切除)	
○ 7	〃 〃 31日	1	神川橋下流	ルアー釣	43.7	39.0	42.2	—	1,100	—	—	空	無	午前5時30分頃
8	〃 〃 6月2日	3	〃	餌釣	40	—	—	—	1,000	—	—	—	無	尾のみ測定。午前5時30分頃。群れで泳いでいる
○ 9	〃 〃 〃	1	磯部堤下流200m	あぶくろガジ釣	29.9	23.2	25.4	5.5	207	♀	1.6	空	無	
10	〃 〃 3日	1	神川橋下流	〃	35	—	—	—	—	—	—	—	無	
11	〃 〃 4日	3	〃	ルアー釣	36	—	—	—	560	—	—	小魚 2尾	有(尾のみ脂ビレ切除)	尾のみ測定。脂部分少なくボソボソして不味
12	〃 〃 〃	3	〃	〃	35	—	—	—	—	—	—	—	有(尾のみリボシタグ)	
13	〃 〃 7日	1	〃	〃	34	—	—	—	440	—	—	空	無	午前5時40分頃。水温18.5℃
○ 14	〃 〃 8日	2	〃	投網	32.0 31.6	28.1 28.2	30.0 30.0	—	376 357	♀ ♀	1.6 1.5	空	無	
15	〃 〃 〃	6	〃	ルアー釣	—	—	—	—	—	—	—	—	無	
16	〃 〃 〃	1	〃	〃	30以上	—	—	—	—	—	—	—	無	
17	〃 〃 10日	7	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	無	早朝飛跳見られる
18	〃 〃 11日	3	〃	〃	—	—	—	—	880 770 400	—	—	—	無	
19	〃 〃 12日	1	〃	〃	—	—	—	—	280	—	—	—	有(リボシタグ)	
20	〃 〃 16日	1	〃	〃	35.0	31.6	33.5	—	562	♀	2.5	空	無	
21	〃 〃 18日	1	〃	〃	32	—	—	—	—	—	—	—	無	体測にカビあり
22	〃 〃 22日	3	神川橋橋脚下	〃	36.5 29.5 27.5	—	—	—	600 300 260	♀ ♀ ♀	7.5 — —	空 空 空	無	午前6時～8時頃
○ 23	〃 〃 7月5日	2	相模大橋下	投網	33.6 38.2	31.0 34.2	32.6 36.3	7.6 8.6	495 715	♀ —	3.4 —	小魚 1尾 小魚 2尾	有(リボシタグ)	
24	〃 〃 8月中旬	20	神川橋下流	投網	25～40	—	—	—	—	—	—	—	無	群で泳いでいた。全部試食。美味
合計	—	67	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	有(尾のみリボシタグ) リボシタグ標識魚 5尾 脂ビレ切除無標識魚 3尾 計 8尾	

○印は当场で測定

採捕場所は主に寒川取水堰堤下流の神川橋付近で採捕されたものが多く、さらに上流の相模大橋付近及び磯部堰堤付近で採捕されたものもあつた。

漁法は主としてルアー釣り、投網であるが、餌釣り、あゆ釣り漁法のコログシによるものもあつた。

採捕期間は、平成3年5月18日から8月中旬に渡り、神川橋下流では、群れで泳いでいるのが観察されている。

提供を受けたサンプル10尾の測定結果では、そのほとんどが♀で、1尾のみ♂が確認された。

また、採捕された標識魚の体重については、280g～560gの範囲であつた。

胃の内容物は、若干の小魚類が認められたが大部分のものは空胃であつた。

平成3年度内における放流

平成3年11月28日に岐阜県の民間業者からスモルトアマゴを購入し、4日間蓄養後、12月2日に全尾数脂ビレ切除の標識をした。標識魚には、放流日2日前まで給餌を行った。

放流は、平成3年12月10日に相模川河口より上流約2kmの右岸で行つた。

放流した全尾数は3,000尾で、大きさの範囲は全長約17.0cm～約22.0cm、体重約48.0g～約93.0gであつた。

なお、本年度は、(財)神奈川県内水面漁業振興会により、当场と同時に購入した約3,000尾（無標識）が同日相模川河口から約4km上流の右岸に放流され、来年度の回帰に期待がもたれた。

文 献

- 1) 村山隆夫ほか(1992)：アマゴ増殖試験事業－Ⅰ，神奈川県淡水魚増殖試験場報告，28，82～84.